

栃木県資源循環推進計画の進捗状況（令和6（2024）年度末時点）

参 - 2

栃木県資源循環推進計画（令和3（2021）年～令和7（2025）年）テーマごとの指標		計画期間										
テーマ	指標	H29年度 (2017)	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	目標 R7年度 (2025)	達成状況
テーマ1 ライフサイクル全体での 資源循環の 推進	県民1人1日当たりの生活系一般廃棄物の排出量[g/人・日]		672 【基準】	671	699	682	664	639			650	○
	県内の産業による生産額(実質)1億円当たりの産業廃棄物の排出量(農業及び鉱業に係るものを除く。)[t/億円]	52 【基準】	48.2	47.7	47.0	45.0	42.8				48.8	○
	県内で排出された一般廃棄物の最終処分量[千t]		57 【基準】	63	63	58	63	56			53	×
	県内で排出された産業廃棄物の最終処分量[千t]		87 【基準】	87	87	88	84	77			84	○
テーマ2 資源循環と しての適正 処理の推進	本県から優良認定を受けた産業廃棄物処理業者の数(栃木県内業者)[事業者]			37 【基準】	37	44	44	45	46		61	×
	県内で発生した産業廃棄物不法投棄の件数(10t未満を含む)[件]			146 【基準】	177	96	83	143			70	×
テーマ3 資源循環推 進体制の確 保	県内で排出された一般廃棄物の再生利用率[%]		16 【基準】	16.2	15.9	15.8	15.5	15.0			19.0	×
	県内で排出された産業廃棄物の再生利用率[%]		50.2 【基準】	51.5	50.5	50.8	54.3	51.0			53.0	×
	県内に新設される焼却施設における熱回収設備の導入率[%]		100	- (新設なし)	- (新設なし) 【基準】	100	- (新設なし)	- (新設なし)	- (新設なし)		100	○
	大規模災害等に備えた事業継続計画(BCP)の策定市町数[市町]				6 【基準】	6	6	10	11		25	×
テーマ4 廃棄物・リサ イクル産業 の振興	県内の産業団地等におけるリサイクル施設の立地件数[件]			78 【基準】	80	80	84	84	82		増加を 目指す	○
	「とちの環エコ製品」の認定件数[件]			119 【基準】	115	109	109	124	137		137	○

栃木県資源循環推進計画の進捗状況（令和5（2023）年度）

（計画期間：令和3（2021）年度～令和7（2025）年度）

テーマ1

ライフサイクル全体での資源循環

① 県民1人1日当たりの生活系一般廃棄物の排出量[g/人・日] 達成状況：○

指標	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	目標 R7年度 (2025)	達成状況
県民1人1日当たりの生活系一般廃棄物の排出量[g/人・日]	672 【基準】	671	699	682	664	639			650	○

（一般廃棄物処理事業実態調査結果から集計）

【傾向】

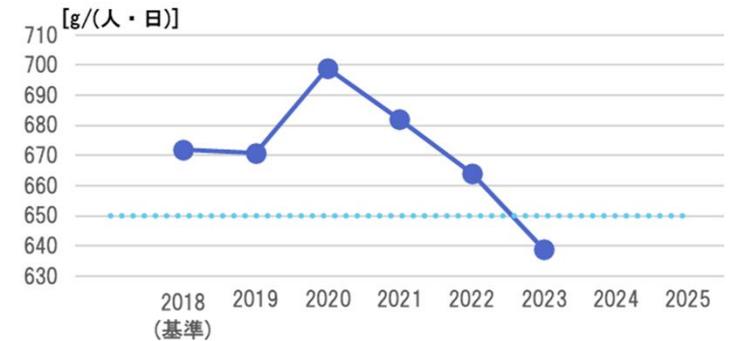
・2020年度と2021年度は、コロナ禍での巣ごもり消費・断捨離等によって基準年度2018年度より排出量が増加したと考えられるが、以後2年連続で減少し、コロナ禍前の水準よりも減少している。

【課題】

・可燃ごみ（家庭ごみ）中への資源物や食品ロス等の混入

【検討の方向性】

- ・市町における分別回収の促進
- ・紙ごみ、容器包装・製品プラスチック等の再資源化の促進
- ・市町におけるごみ処理有料化の促進
- ・使い捨てプラスチックの使用削減
- ・食品ロス削減意識の醸成



1人1日当たりの生活系一般廃棄物排出量

栃木県資源循環推進計画の進捗状況（令和5（2023）年度）

（計画期間：令和3（2021）年度～令和7（2025）年度）

テーマ1

ライフサイクル全体での資源循環

② 県内の産業による生産額（実質）1億円当たりの産業廃棄物の排出量（農業及び鉱業に係るものを除く。）[t/億円] 達成状況：○

指標	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	目標 R7年度 (2025)	達成状況
県内の産業による生産額(実質)1億円当たりの産業廃棄物の排出量(農業及び鉱業に係るものを除く。)[t/億円]	48.2	47.7	47.0	45.0	42.8				48.8	○
排出量[千t]	4,380	4,422	4,166	4,119	4,049	3,529			4,292	

【傾向】

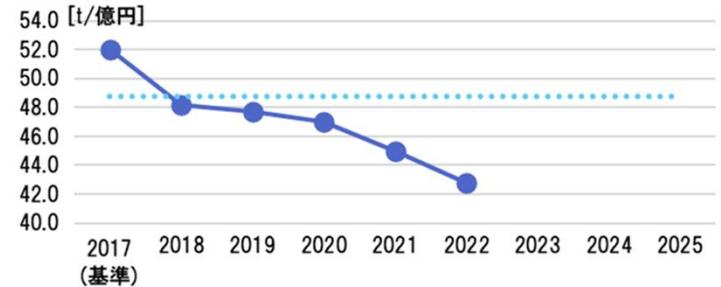
- ・基準年度である2017年度以降減少傾向であり、産業廃棄物の排出量も同様の傾向を示している。

【課題】

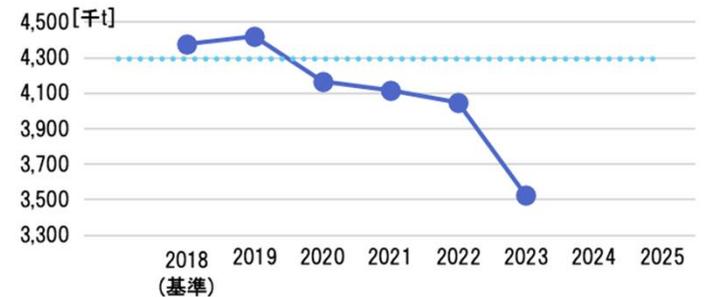
- ・引き続き排出量を削減するため、排出時点での更なる分別徹底

【検討の方向性】

- ・産業廃棄物排出事業者向け講習会の開催や分別メリットの普及啓発など通じた発生抑制の意識向上



産業による生産額1億円当たりの産業廃棄物排出量



産業廃棄物の排出量

栃木県資源循環推進計画の進捗状況（令和5（2023）年度）

（計画期間：令和3（2021）年度～令和7（2025）年度）

テーマ1

ライフサイクル全体での資源循環

③ 県内で排出された一般廃棄物の最終処分量[千t] 達成状況：✕

指標	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	目標 R7年度 (2025)	達成状況
県内で排出された一般廃棄物の最終処分量[千t]	57 【基準】	63	63	58	63	56			53	✕
排出量[千t]	664	661	661	648	630	607			612	

【傾向】

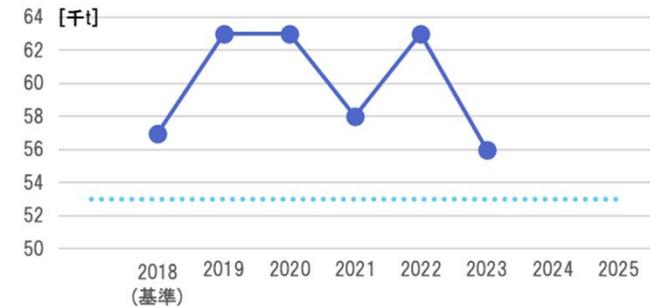
- ・2022年度に一部の市において最終処分量が増加（一時的な影響）したことにより県全体の最終処分量も増加したが、2023年度には2021年度よりも減少した。

【課題】

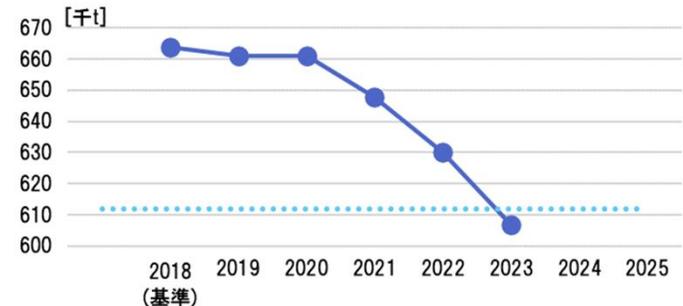
- ・可燃ごみ（家庭ごみ）中への資源物や食品ロス等の混入
- ・リチウムイオン電池等の混入による火災発生事例の増加

【検討の方向性】

- ・市町における分別回収の促進
- ・紙ごみ、容器包装・製品プラスチック等の再資源化の促進
- ・食品ロス削減意識の醸成
- ・リチウムイオン電池等の分別周知及び徹底



一般廃棄物の最終処分量



一般廃棄物の排出量

栃木県資源循環推進計画の進捗状況（令和5（2023）年度）

（計画期間：令和3（2021）年度～令和7（2025）年度）

テーマ1

ライフサイクル全体での資源循環

④ 県内で排出された産業廃棄物の最終処分量[千t] 達成状況：○

指標	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	目標 R7年度 (2025)	達成状況
県内で排出された産業廃棄物の最終処分量[千t]	87 【基準】	87	87	88	84	77			84	○
排出量[千t]	4,380	4,422	4,166	4,119	4,049	3,529			4,292	

【傾向】

- ・2018→2023で最終処分量は11千t減少。
- ・種類別については、汚泥、鋳さい、廃プラスチックがそれぞれ4千tの減少、ガラス陶磁器くずが14千tの減少。
- ・一方、その他（燃え殻、ばいじん等）については、13千t増加。

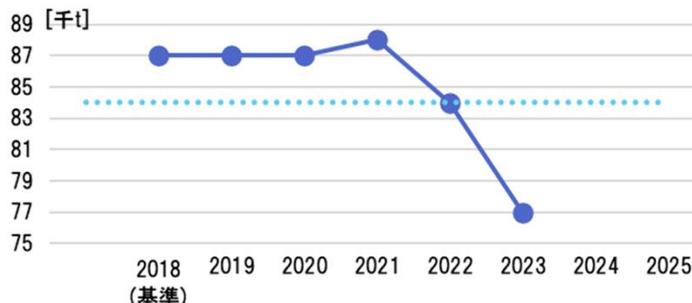
【課題】

- ・目標達成したが、最終処分量の更なる減量に向けては、高度リサイクル施設の立地が不足、また、製造業者とリサイクル業者の間の情報共有不足

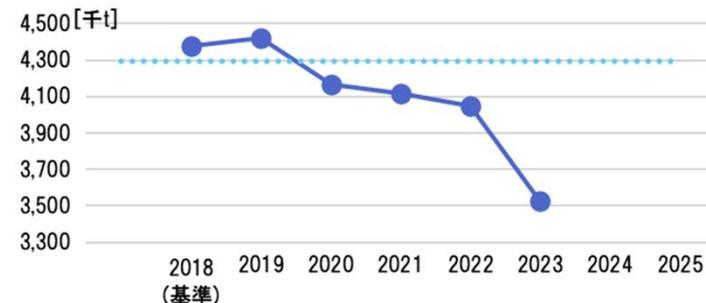
【検討の方向性】

- ・排出事業者に対する発生抑制の意識向上

年度	産業廃棄物の最終処分量(千t) 農業・鉱業除く						変化量 (2018→ 2023)
	2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	
汚泥	11	11	10	11	8	7	-4
がれき類	11	12	12	12	12	13	2
鋳さい	4	4	4	5	3	0	-4
木くず	3	3	3	3	3	2	-1
廃プラスチック	15	16	15	16	15	11	-4
ガラス陶磁器くず	24	22	24	23	25	10	-14
金属くず	1	1	1	1	1	2	1
その他	18	19	18	18	17	31	13
計	87	88	87	89	84	76	-11



産業廃棄物の最終処分量



産業廃棄物の排出量

栃木県資源循環推進計画の進捗状況（令和6（2024）年度）

（計画期間：令和3（2021）年度～令和7（2025）年度）

テーマ2

資源循環としての適正処理の推進

⑤ 本県から優良認定を受けた産業廃棄物処理業者の数（栃木県内業者）[事業者] 達成状況：✕

指標	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	目標 R7年度 (2025)	達成状況
本県から優良認定を受けた産業廃棄物処理業者の数(栃木県内業者)[事業者]	37 【基準】	37	44	44	45	46		61	✕

【傾向】

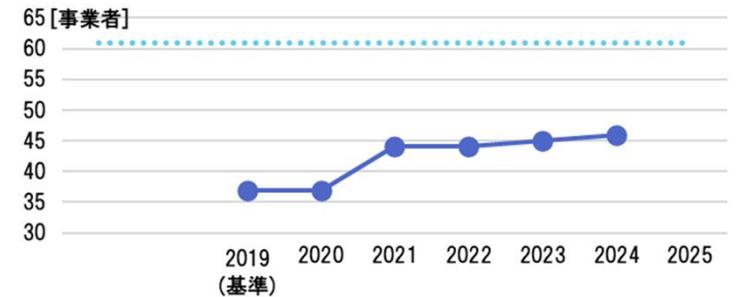
- ・本県の認定事業者数は、ここ数年わずかに増えているのみでほぼ横ばいである。

【課題】

- ・認定メリットが十分に周知されていない。
- ・認定の手続が煩雑

【検討の方向性】

- ・優良認定制度の普及啓発



優良産業廃棄物処理業者数

栃木県資源循環推進計画の進捗状況（令和5（2023）年度）

（計画期間：令和3（2021）年度～令和7（2025）年度）

テーマ2

資源循環としての適正処理の推進

⑥ 県内で発生した産業廃棄物不法投棄の件数（10t未満を含む）[件] 達成状況：×

指標	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	目標 R7年度 (2025)	達成状況
県内で発生した産業廃棄物不法投棄の件数(10t未満を含む)[件]	146 【基準】	177	96	83	143			70	×

【傾向】

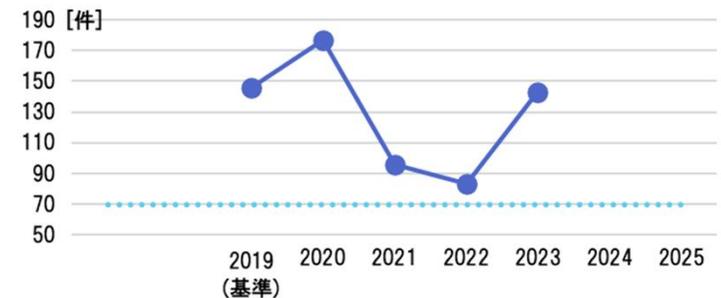
- ・年度によっては前年度と比較して件数が増加することがある。
- ・突発的な不法投棄により、2022→2023で60件増加
- ・不法投棄量は2022→2023で806㎡減少

【課題】

- ・パトロールや監視カメラの設置、不法投棄110番の開設、関係団体等との連携などにより対応しているが、監視の目をくぐり抜けた悪質な不法投棄が後をたたない。

【計画の方向性】

- ・関係機関との迅速な情報共有及び連携した監視活動等による不法投棄対策の継続



産業廃棄物不法投棄の件数

栃木県資源循環推進計画の進捗状況（令和5（2023）年度）

（計画期間：令和3（2021）年度～令和7（2025）年度）

テーマ3 資源循環推進体制の確保

⑦ 県内で排出された一般廃棄物の再生利用率[%] 達成状況：×

指標	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	目標 R7年度 (2025)	達成状況
県内で排出された一般廃棄物の再生利用率[%]	16 【基準】	16.2	15.9	15.8	15.5	15.0			19.0	×
排出量[kt]	664	661	661	648	630	607			612	

【傾向】

- ・2019年度以降、一般廃棄物の再生利用率の向上は見られず、減少傾向である。

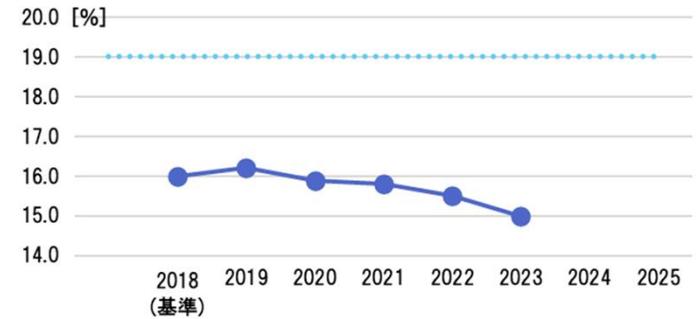
【課題】

- ・可燃ごみ（家庭ごみ）中への資源物や食品ロス等の混入。

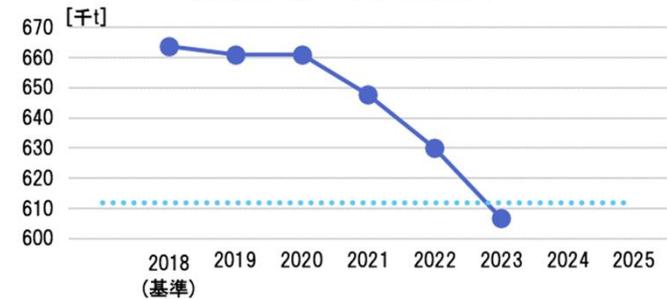
【検討の方向性】

- ・市町における分別回収の促進
- ・紙ごみ、容器包装・製品プラスチック等の再資源化の促進

$$\text{再生利用率} = \frac{\text{集団回収量} + \text{直接資源化量} + \text{中間処理後資源化量}}{\text{排出量}}$$



一般廃棄物の再生利用率



一般廃棄物の排出量

栃木県資源循環推進計画の進捗状況（令和5（2023）年度）

（計画期間：令和3（2021）年度～令和7（2025）年度）

テーマ3

資源循環推進体制の確保

⑧ 県内で排出された産業廃棄物の再生利用率[%] 達成状況：×

指標	H30年度 (2018)	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	目標 R7年度 (2025)	達成状況
県内で排出された産業廃棄物の再生利用率[%]	50.2 【基準】	51.5	50.5	50.8	54.3	51.0			53.0	×
排出量[千t]	4,380	4,422	4,166	4,119	4,049	3,529			4,292	

【傾向】

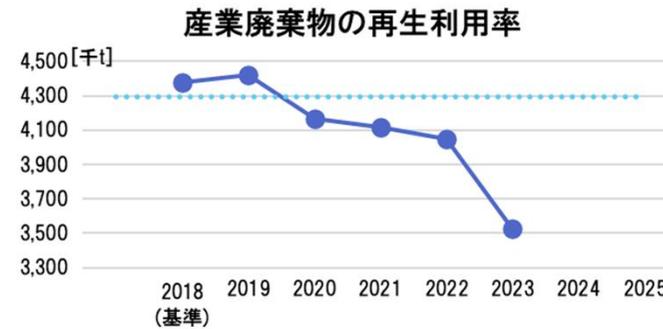
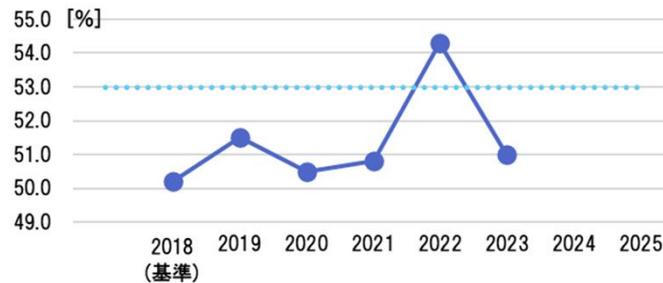
- リサイクル率の高いがれき類の排出量が減少したことで、再生利用率が低下した。
- 廃プラスチック類については、2018→2023で8.7ポイント再生利用率が低下した。

【課題】

- 廃プラスチック類の再生利用率低下

【検討の方向性】

- プラスチック資源の再生利用の取組強化（動静脈連携の促進、再生材の利用促進）
- 産業団地等における高度リサイクル（広域回収、高度分別、脱炭素化）施設の立地促進



年度		2018 (H30)	2019 (R1)	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	変化量 (2018→ 2023)
汚泥	排出量 (A)	2026	1989	1918	1870	1670	1686	-340
	再生利用量 (B)	109	109	103	104	82	172	63
	再生利用率 (B/A)	5.4%	5.5%	5.4%	5.6%	4.9%	10.2%	
がれき類	排出量 (A)	1011	1085	1090	1006	1096	759	-252
	再生利用量 (B)	1000	1073	1078	995	1084	745	-255
	再生利用率 (B/A)	98.9%	98.9%	98.9%	98.9%	98.9%	98.2%	
鋳さい	排出量 (A)	335	357	215	272	286	228	-107
	再生利用量 (B)	331	353	211	267	282	222	-109
	再生利用率 (B/A)	98.8%	98.9%	98.1%	98.2%	98.6%	97.4%	
木くず	排出量 (A)	172	177	173	174	195	137	-35
	再生利用量 (B)	126	133	131	129	143	129	3
	再生利用率 (B/A)	73.3%	75.1%	75.7%	74.1%	73.3%	94.2%	
廃プラスチック類	排出量 (A)	186	188	176	175	182	155	-31
	再生利用量 (B)	147	148	138	136	143	109	-38
	再生利用率 (B/A)	79.0%	78.7%	78.4%	77.7%	78.6%	70.3%	
ガラス陶磁器くず	排出量 (A)	154	145	145	150	160	155	1
	再生利用量 (B)	130	123	121	126	135	145	15
	再生利用率 (B/A)	84.4%	84.8%	83.4%	84.0%	84.4%	93.5%	
金属くず	排出量 (A)	30	30	28	29	29	44	14
	再生利用量 (B)	30	29	27	29	28	42	12
	再生利用率 (B/A)	100.0%	96.7%	96.4%	100.0%	96.6%	95.6%	
その他	排出量 (A)	465	452	420	442	431	365	-100
	再生利用量 (B)	327	311	292	306	303	233	-94
	再生利用率 (B/A)	70.3%	68.8%	69.5%	69.2%	70.3%	63.8%	
計	排出量 (A)	4380	4422	4166	4119	4049	3529	-851
	再生利用量 (B)	2199	2278	2103	2091	2200	1798	-401
	再生利用率 (B/A)	50.2%	51.5%	50.5%	50.8%	54.3%	51.0%	

栃木県資源循環推進計画の進捗状況（令和6（2024）年度）

（計画期間：令和3（2021）年度～令和7（2025）年度）

テーマ3

資源循環推進体制の確保

⑨ 県内に新設される焼却施設における熱回収設備の導入率[%] 達成状況：○

指標	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	目標 R7年度 (2025)	達成状況
県内に新設される焼却施設における熱回収設備の導入率[%]	- (新設なし) 【基準】	100	- (新設なし)	- (新設なし)	- (新設なし)		100	○

【傾向】

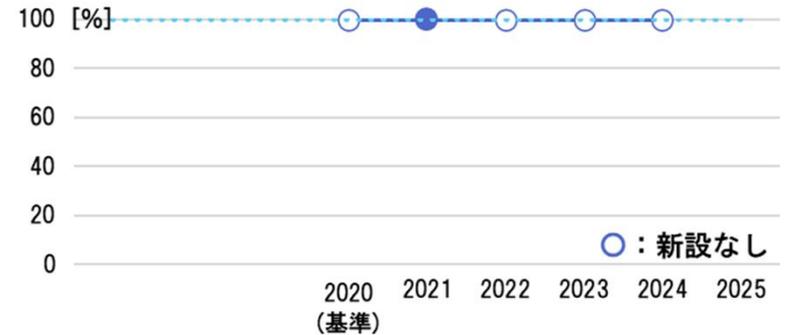
- ・基準年度の2020年度以降、焼却施設の新設が1件あり、熱回収設備を導入している。

【課題】

- ・引き続き導入率100%を継続する。

【検討の方向性】

- ・熱回収設備の導入の促進



新設される焼却施設の熱回収設備導入率

栃木県資源循環推進計画の進捗状況（令和6（2024）年度）

（計画期間：令和3（2021）年度～令和7（2025）年度）

テーマ3

資源循環推進体制の確保

⑩ 大規模災害等に備えた事業継続計画（BCP）の策定市町数[市町] 達成状況：×

指標	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	目標 R7年度 (2025)	達成状況
大規模災害等に備えた事業継続計画(BCP)の策定市町数[市町]	6 【基準】	6	6	10	11		25	×

【傾向】

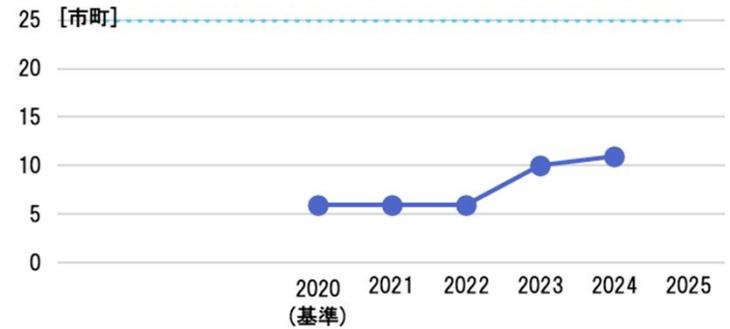
- ・基準年度の2020年度から6市町で横ばいであったが近年は増加し、11市町となった。

【課題】

- ・法律で作成が義務づけられているものではないため、施策の優先順位が低い。
- ・災害廃棄物処理計画等によりBCPをカバーしている市町等もあるが、実態把握が不十分

【検討の方向性】

- ・市町向け研修会の開催
- ・市町の災害廃棄物処理計画見直しに係る支援
- ・引き続き有事に備えた体制の整備
- ・BCP未策定市町の課題の把握及び策定に向けた働きかけ



事業継続計画(BCP)の策定市町数

栃木県資源循環推進計画の進捗状況（令和6（2024）年度）

（計画期間：令和3（2021）年度～令和7（2025）年度）

テーマ4

廃棄物・リサイクル産業の振興

⑪ 県内の産業団地等におけるリサイクル施設の立地件数[件] 達成状況：○

指標	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	目標 R7年度 (2025)	達成状況
県内の産業団地等におけるリサイクル施設の立地件数[件]	78 【基準】	80	80	84	84	82		増加を目指す	○

【傾向】

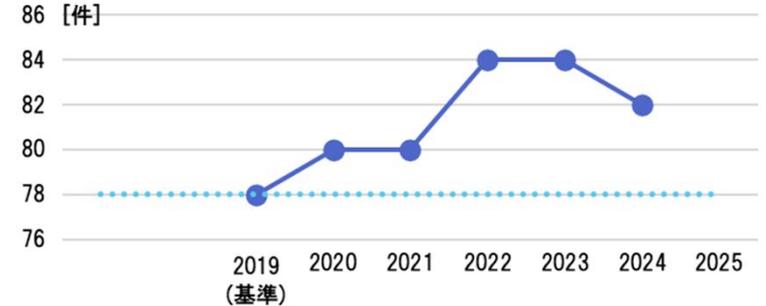
- ・ 基準年度の2019年度から4件増加した。

【課題】

- ・ 製造業における再生資源需要が少ない（情報が無い）
- ・ リサイクル施設のイメージが県民に不透明
- ・ 立地に係る受入環境が不十分

【検討の方向性】

- ・ 産業団地等における高度化リサイクル施設などの立地促進
- ・ 動静脈連携の促進
- ・ リサイクル施設の必要性や事業内容を理解してもらうための取組の促進（リサイクル施設等見学コンシェルジュ事業、学校向け出前授業等）
- ・ 県及び市町の産業団地関係課等との情報交換



リサイクル施設の立地件数

栃木県資源循環推進計画の進捗状況（令和6（2024）年度）

（計画期間：令和3（2021）年度～令和7（2025）年度）

テーマ4

廃棄物・リサイクル産業の振興

⑫ 「とちの環エコ製品」の認定件数[件] 達成状況：○

指標	R1年度 (2019)	R2年度 (2020)	R3年度 (2021)	R4年度 (2022)	R5年度 (2023)	R6年度 (2024)	R7年度 (2025)	目標 R7年度 (2025)	達成状況
「とちの環エコ製品」の認定件数[件]	119 【基準】	115	109	109	124	137		137	○

【傾向】

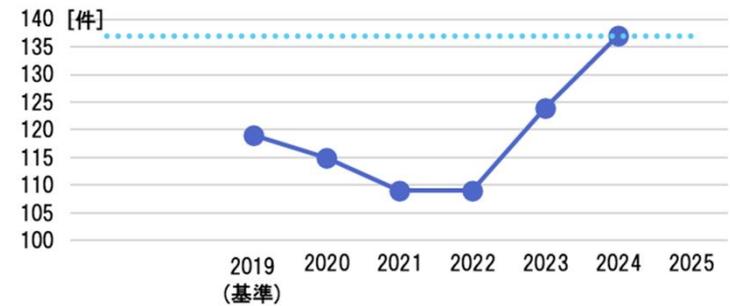
- ・ 2019→2024で18件増加。
- ・ 基準（品質、安全性等）を満たすリサイクル製品を製造している事業者に対し認定取得を促したこと及び資源循環に対する事業者の取組意欲が高まったことにより、申請件数が増加した（R6：新規15件、廃止2件）。

【課題】

- ・ リサイクル製品の更なる需要創出

【検討の方向性】

- ・ リサイクル製品の需要創出に向けた取組促進
（とちの環エコ製品の公共利用の拡大、とちの環エコ製品の普及啓発 等）



「とちの環エコ製品」の認定件数